

## 組 合 の 沿 革

社会経済の急速な進展に伴い、消防の体制も時代に即応した近代的合理化はもとより有機的な相互応援体制として、広域化、常備化を図るため、石狩北部地区町村を以って、消防一部事務組合の設置を推進しました。

- 昭和44. 11 当別町、新篠津村、厚田村、浜益村の4町村により消防一部事務組合を設立し共同で消防本部、署を設置する計画について、道及び4町村で協議
- 昭和45. 3 4町村で消防施設計画書、道に提出
- 4町村助役、消防団長、総務課長会議開催、消防団を含めた事務組合設立と分担金の負担率について協議
- 8 4町村助役、総務課長会議開催し、組合予算等について協議
- 10 地方第1905号指令により組合設立許可  
石狩北部地区消防事務組合発足、消防本部設置（署、消防団を除く）  
4町村の町村長会議開催、組合管理者に当別町長近藤辰雄氏互選  
議会議長に当別町議会議長山田政太郎氏、議会副議長に新篠津村議会議員若松鉄治氏、副管理者に当別町助役上口正一氏、収入役に副管理者兼掌、監査委員に片岡一応氏選任
- 昭和46. 2 副管理者に当別町助役江間実氏選任
- 4 消防組織発足（当別町、新篠津村、厚田村、浜益村の1町3村）  
消防本部、署、所設置、消防長に配野博氏就任  
1本部、1署、3出張所、消防吏員35名、事務職員2名、計37名、4消防団、団員580名
- 5 広報「消防組合」第1号発刊  
管理者に当別町長上口正一氏互選
- 6 消防本部及び消防署を置かなければならない市町村として当別町、新篠津村、厚田村、浜益村が指定（自治省告示第110号）  
救急業務を行わなければならない市町村として当別町、新篠津村、厚田村、浜益村が指定（自治省告示第111号）  
議会議長に当別町議会議長川村弘司選任
- 昭和47. 4 石総務第62号指令により石狩町の加入に伴う組合規約変更許可  
石狩町の組合加入により、1本部、1署、4出張所、消防吏員59名、事務職員3名、計62名、5消防団、消防団員770名  
消防本部及び消防署を置かなければならない市町村として石狩町が指定（自治省告示第106号）

- 7 新篠津村にて北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会開催  
9 消防団員定数785名
- 昭和48. 4 消防団員定数768名  
6 救急業務を行わなければならない市町村として石狩町が指定  
(自治省告示第119号)
- 昭和49. 4 石狩出張所を石狩消防署に昇格  
消防吏員71名、事務職員4名、計75名
- 昭和50. 5 管理者に当別町長上口正一氏再選  
議会議長に当別町議会議長後藤正義氏、議会副議長に浜益村議会議員木村武一氏、  
収入役に当別町収入役吉原貞義氏選任  
8 副管理者に当別町助役配野定平氏選任
- 昭和51. 2 新篠津消防団、台風による水防活動の功績により建設大臣表彰受賞  
8 収入役に当別町収入役竹原庄一氏選任
- 昭和52. 2 監査委員(識見を有する者)に田村正治氏選任  
4 消防吏員88名、事務職員4名、計92名、消防団員定数753名  
7 浜益村にて北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会開催  
9 当別町にて組合消防連合訓練大会開催
- 昭和53. 3 自治体消防30周年記念式典参加(東京)  
4 消防吏員99名、事務職員4名、計103名  
石狩北部地区危険物安全協会設立(当別、新篠津、石狩、厚田、浜益の5支部)
- 昭和54. 4 消防吏員105名、事務職員4名、計109名  
5 管理者に当別町長上口正一氏再選、議会議長に当別町議会議員川村弘司氏選任
- 昭和55. 4 消防吏員105名、事務職員5名、計110名  
組合初の少年消防クラブ、当別町北栄町少年消防クラブ誕生(クラブ員23名)  
5 組合初の婦人防火クラブ、浜益村濃昼地区婦人防火クラブ誕生(クラブ員20名)  
7 収入役に当別町収入役松野栄治氏選任  
9 消防団員定数738名  
10 厚田村(滝の沢トンネル)にてトンネル火災訓練実施  
実施機関 消防本部、厚田出張所、厚田消防団、浜益出張所、浜益消防団、当別  
消防署、石狩消防署 協力機関 札幌開発建設部当別出張所、厚田村、浜益村他
- 昭和56. 2 議会副議長に石狩町議会議員萩原茂樹氏選任  
5 石狩町初の少年消防クラブ、石狩町樽川少年消防クラブ誕生(クラブ員20名)  
6 管理者上口正一氏死去  
7 当別町にて北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会開催  
8 管理者に当別町長配野定平氏互選、副管理者に当別町助役近藤善留氏選任  
9 石狩北部地区消防事務組合創設10周年記念式典開催(当別町農村環境改善センター)

- 新篠津村初の婦人防火クラブ、新篠津婦人防火クラブ誕生（クラブ員81名）
- 1 1 当別町初の婦人防火クラブ、当別町美登江婦人防火クラブ誕生（クラブ員38名）  
石狩北部地区幼年・少年・婦人防火委員会発足  
新篠津消防団、集中豪雨による水防活動の功績により建設大臣表彰受賞
- 昭和57. 2 厚田村初の少年消防クラブ、厚田村別狩少年消防クラブ誕生（クラブ員31名）  
当別町末広町婦人防火クラブ発足（クラブ員26名）
- 3 当別町万代町少年消防クラブ発足（クラブ員19名）  
当別町西町少年消防クラブ発足（クラブ員40名）  
当別町中小屋婦人防火クラブ発足（クラブ員75名）  
当別町当別太婦人防火クラブ発足（クラブ員37名）
- 5 組合初の幼年消防クラブ、当別町西保育所幼年消防クラブ誕生（クラブ員95名）
- 1 1 消防長配野博氏退職、消防長に安栄昭治氏就任
- 昭和58. 5 議会議長に当別町議会議員川村弘司氏再選、議会副議長に浜益村議会議員武安喜一郎氏選任
- 7 石狩町初の幼年消防クラブ、石狩町さくら幼年消防クラブ誕生（クラブ員120名）
- 1 0 消防吏員106名、事務職員5名、計111名
- 昭和59. 4 浜益村川下婦人防火クラブ発足（クラブ員24名）
- 6 収入役に当別町収入役松野栄治氏再選
- 7 北海道消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部に新篠津消防団中央分団が出場し準優勝
- 1 2 石狩町初の婦人防火クラブ、石狩町東婦人防火クラブ誕生（クラブ員52名）
- 昭和60. 2 議会副議長に厚田村議会議員河合雅雄氏選任  
石狩町北陽幼年消防クラブ発足（クラブ員170名）
- 3 当別町立東保育所幼年消防クラブ発足（クラブ員60名）
- 4 消防吏員106名、事務職員5名、計111名  
当別町にて道央地区消防長会議開催
- 5 当別消防署、石狩消防署に救助隊設置
- 6 札幌市にて石狩川水防公開演習が開催、当組合より当別消防団、石狩消防団が参加  
消防団員現地教育訓練を消防本部に於いて開催（石狩北部地区、江別市）
- 7 厚田村にて北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会開催
- 8 管理者に当別町長配野定平氏再選
- 9 副管理者に当別町助役長谷川政吉氏選任
- 1 2 石狩町北生振婦人防火クラブ発足（クラブ員52名）
- 昭和61. 8 新篠津村にて北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会開催
- 9 北海道消防操法訓練大会小型ポンプの部に厚田消防団選抜団員が出場し準優勝  
高圧ガス輸送保安確保共同防火訓練（石狩新港地区）に参加  
主催 通商産業省、石狩北部地区消防事務組合、札幌市、北海道、北海道警察参加

- 1 1 消防吏員 1 0 8 名、事務職員 5 名、計 1 1 3 名
- 1 2 石狩町北陽婦人防火クラブ発足（クラブ員 1 9 2 名）
- 昭和 6 2. 5 議会議長に当別町議会議員川村弘司氏、議会副議長に厚田村議会議員河合雅雄氏再選
- 昭和 6 3. 3 自治体消防 4 0 周年記念式典参加（東京）
- 4 消防吏員 1 1 1 名、事務職員 5 名、計 1 1 6 名
- 7 収入役に当別町収入役伊達寿之氏選任
- 1 2 浜益村初の浜益村川下保育所、群別保育所幼年消防クラブ誕生（クラブ員 2 9 名・2 2 名）
- 平成 元. 2 監査委員（識見を有する者）に片岡弘二氏選任
- 4 消防吏員 1 1 2 名、事務職員 5 名、計 1 1 7 名
- 8 管理者に当別町長配野定平氏再選
- 9 副管理者に当別町長助役長谷川政吉氏再任
- 平成 2. 4 消防吏員 1 1 5 名、事務職員 5 名、計 1 2 0 名
- 平成 3. 2 北海道広域消防相互応援協定調印
- 3 消防長安栄昭治氏当別町へ異動
- 4 消防長に山崎勲氏就任
- 当別消防署新篠津出張所、同厚田出張所、同浜益出張所を支署に改称
- 消防吏員 1 1 7 名、事務職員 5 名、計 1 2 2 名
- 5 議会議長に当別町議会議員金山保氏選任、議会副議長に厚田村議会議員河合雅雄氏再任、議会選出の監査委員に浜益村議会議員滝本一次氏選任
- 7 石狩北部地区消防事務組合創設 2 0 周年記念消防総合訓練大会開催（当別町当別小学校）
- 1 0 副管理者に当別町助役伊達寿之氏選任
- 1 1 石狩北部地区消防事務組合創設 2 0 周年記念式開催（当別町総合体育館）
- 平成 4. 4 消防吏員 1 2 2 名、事務職員 5 名、計 1 2 7 名
- 7 収入役に当別町収入役山本達雄氏選任
- 浜益村にて北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会開催
- 8 高速自動車道消防総合訓練に当別消防署、石狩消防署が参加
- 1 1 厚田村初の幼年消防クラブ、厚田村厚田保育所幼年消防クラブ誕生（クラブ員 4 6 名）
- 平成 5. 2 監査委員（識見を有する者）に片岡弘二氏、議会選出の監査委員に浜益村議会議員滝本一次氏再任
- 4 消防吏員 1 2 7 名、事務職員 5 名、計 1 3 2 名
- 8 管理者に当別町長伊達寿之氏互選
- 副管理者に当別町助役飯田敬氏選任

- 9 新篠津村初の幼年消防クラブ、新篠津村すくすく保育所幼年消防クラブ誕生  
(クラブ員57名)
- 10 厚田村望来、聚富保育所幼年消防クラブ発足(クラブ員60名)
- 11 自治体消防45周年記念大会参加(東京)
- 平成 6. 1 消防長山崎勲氏当別町へ異動、消防長に熊谷時男氏就任  
2 収入役に当別町収入役山崎勲氏選任  
4 消防吏員132名、事務職員5名、計137名  
厚田村初の婦人防火クラブ、厚田村虹が原婦人防火クラブ誕生(クラブ員35名)
- 6 石狩町にて石狩川水防公開演習を開催、当組合より消防本部、当別消防署、新篠津支署、石狩消防署、当別消防団、新篠津消防団、石狩消防団が参加
- 7 石狩町にて北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会開催
- 8 石狩町にて北海道防災総合訓練を開催、当組合より消防本部、各署、支署、消防団が参加
- 12 収入役に当別町収入役小林登氏選任
- 平成 7. 4 消防吏員141名、事務職員6名、計147名  
5 議会議長に当別町議会議員青山義虎氏、議会副議長に石狩市議会議員長原徳治氏選任  
7 新篠津村にて北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会開催  
8 海老消防庁審議官来庁(消防本部、当別消防署、石狩消防署視察)
- 平成 8. 4 消防吏員150名、事務職員5名、計155名  
7 北海道消防防災ヘリコプター応援協定に締結
- 平成 9. 2 監査委員(識見を有する者)に片岡弘二氏再任、議会選出監査委員に厚田村議会議員成田一夫氏選任  
4 消防吏員155名、事務職員5名、計160名  
7 北海道消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部に新篠津消防団中央分団が出場し、優良賞を受賞  
札幌市にて緊急消防援助隊(北海道・東北ブロック)合同訓練開催(消火隊として当別消防署1隊参加)  
管理者に当別町長伊達寿之氏再選
- 8 副管理者に当別町助役飯田敬氏再任
- 平成 10. 2 収入役に当別町収入役、高橋嘉郎氏選任  
3 自治体消防50周年記念大会参加(東京)  
4 消防吏員162名、事務職員5名、計167名  
7 議会議長に当別町議会議員竹田和雄氏選任
- 11 厚田村厚田婦人防火クラブ発足(クラブ員15名)
- 平成 11. 4 当別消防署、新篠津支署、同厚田支署、同浜益支署を消防署に昇格

- 消防吏員168名、事務職員5名、計173名  
規約改正に伴い、副管理者2人制となり、副管理者に石狩市助役田岡克介氏選任  
組織改革に伴い、副消防長2人制施行
- 5 議会議長に当別町議会議員千葉荘康氏、議会副議長に石狩市議会議員成田敏彦氏  
選任、監査委員（議会選出）に厚田村議会議員成田一夫氏再任
- 8 副管理者に石狩市助役青野誠氏選任
- 平成12. 3 有珠山噴火に伴い、北海道広域消防相互応援協定に基づき、当組合から水槽隊支  
援隊（3月30日～5月8日延人員151名）2隊を伊達市、虻田町へ派遣
- 4 消防吏員171名、事務職員5名、計176名
- 平成13. 2 監査委員（識見を有する者）に片岡弘二氏再任
- 4 消防吏員174名、事務職員3名、計177名
- 6 石狩北部地区消防事務組合創設30周年合同連携訓練実施（当別町道民の森）  
8 管理者に当別町泉亭俊彦氏選任  
9 副管理者に谷本辰美氏選任  
10 消防長熊谷時男氏当別町へ異動、消防長に配野行雄氏就任  
石狩北部地区消防事務組合創設30周年記念式開催（当別町総合体育館）
- 平成14. 4 消防吏員176名、事務職員3名、計179名  
8 収入役に石狩市収入役、星正明氏選任
- 平成15. 3 消防長配野行雄氏当別町へ異動  
4 消防長に上田誠二氏就任  
消防吏員175名、事務職員3名、計178名  
6 監査委員（議会選出）に新篠津村議会議員砂田博幸氏選任  
11 自治体消防55周年記念大会参加（東京）
- 平成16. 4 消防吏員176名、事務職員2名、計178名  
副管理者に佐々木保氏選任  
5 消防吏員176名、事務職員3名、計179名
- 平成17. 2 監査委員（識見を有する者）に米口稔氏選任  
4 消防吏員182名、事務職員3名、計185名  
6 当別町にて石狩川水防公開演習が開催、当組合より消防本部、当別消防署、石狩消  
防署、当別消防団、厚田消防団、浜益消防団、石狩消防団が参加  
8 議会副議長に石狩市議会議員中田守氏選任  
10 厚田村、浜益村の石狩市への編入合併により組合構成が当別町、新篠津村、石狩  
市の1市1町1村となる  
石狩消防署北出張所、厚田消防署、浜益消防署を石狩消防署親船支署、厚田支署、  
浜益支署に改称
- 平成18. 4 消防本部事務所を石狩市に移転

- 管理者に石狩市長田岡克介氏就任  
 規約改正により副管理者 3 名体制（各構成市町村助役、白井俊氏、近藤充徳氏、白木昭氏）  
 消防長に川端章義氏就任  
 消防吏員 173 名、事務職員 3 名、計 176 名  
 5 消防吏員 176 名、事務職員 3 名、計 179 名  
 11 石油コンビナート等特別防災区域に石狩地区指定  
 平成 19. 4 消防吏員 170 名、事務職員 5 名、計 175 名  
 会計管理者に工藤泰雄氏就任  
 職員定数条例改正により職員の定数は消防吏員 182 名、その他の職員 5 名  
 消防団条例改正により消防団定数が当別消防団 170 名、新篠津消防団 90 名、石狩消防団 145 名、厚田消防団 82 名、浜益消防団 93 名  
 6 規約改正により議員定数 6 名（各構成市町村 2 名）体制  
 会議議長に石狩市議会議員長原徳治氏、議会副議長に当別町議会議員桐井伸征氏、監査委員（議会選出）に新篠津村議会議員北口敬二氏選任  
 9 消防長川端章義氏石狩市へ異動  
 10 消防長に二社谷康治氏就任  
 会計管理者に受川克寛氏就任  
 消防吏員 171 名、事務職員 5 名、計 176 名  
 12 消防吏員 170 名、事務職員 4 名、計 174 名  
 平成 20. 3 自治体消防 60 周年記念大会参加（東京）  
 4 消防吏員 168 名、事務職員 4 名、計 172 名  
 消防団条例改正により消防団定数が当別消防団 170 名、新篠津消防団 90 名、石狩消防団 320 名  
 6 消防吏員 170 名、事務職員 4 名、計 174 名  
 7 北海道洞爺湖サミット（7 月 5 日～11 日）開催に伴い、北海道洞爺湖サミット消防・救急体制整備に関する応援協定に基づき、当組合から救急隊 1 隊 6 名（留寿都村）、予防警戒員 1 名（千歳市）の計 7 名を派遣  
 消防吏員 170 名、事務職員 3 名、計 173 名  
 8 消防吏員 169 名、事務職員 3 名、計 172 名  
 10 消防吏員 170 名、事務職員 3 名、計 173 名  
 平成 21. 2 監査委員（識見を有する者）に米口稔氏再任  
 3 消防吏員 168 名、事務職員 3 名、計 171 名  
 4 消防吏員 164 名、事務職員 3 名、計 167 名  
 当別町当別夢の国保育園幼年消防クラブ発足（クラブ員 44 名）  
 5 消防吏員 168 名、事務職員 3 名、計 171 名

- 6 議会議長に石狩市議会議員千葉正威氏選任
- 1 2 消防吏員167名、事務職員3名、計170名
- 平成22. 3 消防長二社谷康治氏石狩市へ異動
- 4 消防長に清野和彦氏、会計管理者に鈴木徳昭氏就任  
消防吏員166名、事務職員3名、計169名
- 5 消防吏員173名、事務職員3名、計176名
- 9 石狩市新港地区にて北海道石油コンビナート等総合防災訓練開催
- 1 1 福島県郡山市にて緊急消防援助隊（北海道・東北ブロック）合同訓練参加（隊員2名派遣）
- 平成23. 2 消防吏員172名、事務職員3名、計175名
- 3 東日本大震災被災地に緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ3月12日～18日（1隊6名）3月22日～27日（1隊5名）4月9日～15日（1隊5名）合計3隊16名を派遣
- 4 会計管理者に大塚隆宣氏就任  
消防吏員171名、事務職員3名、計174名
- 5 消防吏員174名、事務職員3名、計177名
- 6 議会議長に石狩市議会議員長原徳治氏、議会副議長に当別町議会議員柏樹正氏、監査委員（議会選出）に新篠津村議会議員今田義春氏選任  
消防吏員173名、事務職員3名、計176名
- 1 1 消防吏員172名、事務職員3名、計175名
- 平成24. 4 消防吏員172名、事務職員4名、計176名
- 5 消防吏員175名、事務職員4名、計179名
- 6 IFCAA2012SAPPORO 国際消防救助隊合同訓練（6月21・22日）開催に伴い、当組合から救助工作隊1隊5名、後方支援1名の計6名を派遣
- 8 消防吏員174名、事務職員4名、計178名
- 1 0 消防吏員175名、事務職員4名、計179名
- 1 1 消防吏員174名、事務職員4名、計178名
- 平成25. 2 監査委員（識見を有する者）に秋吉義雄氏選任
- 4 消防吏員172名、事務職員4名 計176名
- 6 議会議長に石狩市議会議員米林渙昭氏選任
- 6 当別消防創設100周年記念式開催（当別町総合体育館）
- 8 副管理者に新篠津村副村長窪田守氏就任
- 1 0 消防指令センター運用開始  
苫小牧市にて緊急消防援助隊（北海道・東北ブロック）合同訓練参加（隊員5名派遣）
- 1 1 消防団120年・自治体消防65周年記念大会参加（東京）

- 平成26. 2 新送毛トンネル開通（救助訓練）  
4 消防吏員175名、事務職員3名 計178名  
7 議員行政視察 道東方面  
8 石狩湾新港開港20周年記念式典  
9 石狩湾新港支署開署式  
10 新篠津消防創設100周年記念式開催（新篠津村B&G海洋センター体育館）
- 平成27. 3 消防長清野和彦氏退職  
4 消防長に内藤廣之氏就任  
消防吏員176名、事務職員2名 計178名  
消防団条例改正により消防団定数が当別消防団170名、新篠津消防団90名、  
石狩消防団285名  
当別町ふとみ保育所幼年消防クラブ発足（クラブ員90名）  
5 消防吏員178名、事務職員2名 計180名  
6 議会議長に石狩市議会議員日下部勝義氏、議会副議長に当別町議会議員市川正氏、  
監査委員（議会選出）に新篠津村議会議員藤永康夫氏選任
- 平成28. 1 浜益トンネル開通（情報伝達訓練）  
4 消防吏員176名、事務職員2名、再任用職員2名 計180名  
組合情報セキュリティポリシー策定  
組合ストレスチェック制度運用開始  
組合人事評価制度試行運用開始  
公益財団法人北海道消防協会札幌地方支部内消防団相互応援協定締結  
5 消防吏員180名、事務職員2名、再任用職員2名 計184名  
6 第22回全国女性消防団員活性化北海道大会参加（札幌市）  
9 札幌市総合防災訓練（南区）へ札幌地方支部内消防団相互応援協定締結に伴い当別  
消防団3名、新篠津消防団7名、石狩消防団7名が訓練に参加
- 平成29. 2 監査委員（識見を有する者）に西村良伸氏選任  
4 消防吏員180名、事務職員2名、再任用職員5名 計187名  
5 消防吏員182名、事務職員2名、再任用職員5名 計189名  
6 議会議長に石狩市議会議員青山祐幸氏、監査委員（議会選出）に新篠津村議会高橋  
孝志氏選任  
8 副管理者に新篠津村副村長古谷直樹氏就任  
10 消防吏員181名、事務職員2名、再任用職員5名 計188名
- 平成30. 3 消防長内藤廣之氏退職  
4 消防長に市園博行氏就任  
消防吏員179名、事務職員2名、再任用職員4名 計 185名  
5 消防吏員182名、事務職員2名、再任用職員4名 計 188名

	8	石狩市にて第70回北海道消防大会開催 総勢2,232名
	11	福島県いわき市緊急消防援助隊(北海道・東北ブロック)合同訓練参加
	12	消防吏員181名、事務職員2名、再任用職員4名 計 187名
平成31.	4	消防吏員177名、事務職員1名、再任用職員7名 計 185名 会計管理者に蝦谷学俊氏就任
	4~5	夕張市石炭博物館模擬坑道火災に対し、北海道広域応援協定により延べ4隊17名 (当別3名、新篠津2名、石狩12名)派遣
令和 元.	5	消防吏員 183名、事務職員 1名、再任用職員 7名 計 191名
	6	管理者に石狩市長加藤龍幸氏就任 議会議長に石狩市議会議員蜂谷三雄氏、議会副議長に当別町議会議員岡野喜代治氏 監査委員(議会選出)に新篠津村議会高橋孝志氏、監査委員(識見を有する者)に 白井応隆氏選任
	10	G20観光大臣会合の消防特別警戒のため、倶知安町へ延べ3隊12名派遣 (当別1名、石狩11名)
令和 2.	2	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い特別警戒体制発令、警防指揮本部設置及び 各署に部隊指揮本部設置
	3	消防長市園博行氏石狩市へ異動
	4	消防長に新岡研一郎氏就任 消防吏員183名、事務職員1名、再任用職員9名 計 193名
	5	消防吏員184名、事務職員1名、再任用職員9名 計 194名
	10	夕張市消防本部新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、北海道広域応援協定により 延べ2隊8名派遣(当別3名、新篠津1名、石狩4名)
令和 3.	4	消防吏員 186名、事務職員 2名、再任用職員 7名 計 195名
	5	消防吏員 189名、事務職員 2名、再任用職員 7名 計 198名
	6	議会副議長に当別町議会議員古谷陽一氏選任
	12	石狩北部地区消防事務組合創設50周年記念式開催(ガトーキングダムサッポロ)
令和 4.	1	消防吏員 188名、事務職員 2名、再任用職員 7名 計 197名
	4	消防吏員 189名、事務職員 2名、再任用職員 5名 計 196名
	5	消防吏員 192名、事務職員 2名、再任用職員 5名 計 199名
	6	消防吏員 191名、事務職員 2名、再任用職員 5名 計 198名
令和 5.	3	消防長新岡研一郎氏退職
	4	消防長に高橋一洋氏就任 消防吏員 189名、再任用職員 6名 計195名
	5	消防吏員 194名、再任用職員 6名 計200名
	6	副管理者に当別副町長岡部一宏氏就任 議会議長に石狩市議会議員高田静夫氏、議会副議長に当別町議会議員西村良伸氏

監査委員（議会選出）に新篠津村議会大塚裕樹氏、監査委員（識見を有する者）に岸本護氏選任

- 7 消防吏員 193名、再任用職員 6名 計 199名
- 10 副管理者に石狩副市長小鷹雅晴氏就任  
消防吏員 193名、再任用職員 5名 計 198名
- 11 岩手県宮古市緊急消防援助隊（北海道・東北ブロック）合同訓練参加
- 令和 6. 4 消防吏員 193名、再任用職員 4名 計 197名
- 5 消防吏員 196名、再任用職員 4名 計 200名
- 令和 7. 4 消防吏員 200名、再任用職員 1名 計 201名
- 6 議会議長に石狩市議会議員山田敏人氏選任
- 9 札幌圏消防通信指令業務の共同運用開始

## 令和7年組合内消防署・団の出来事

### ○当別消防署・当別消防団

- 令和 7. 3 常備消防職員1名退職 49名（派遣職員を除く）  
4 常備消防職員4名増員 53名（派遣職員を除く）  
4 元当別消防団 副団長 見上孝太郎氏 瑞宝単光章受賞  
6 当別消防庁舎1階ホール改修工事 880千円  
7 救助工作車（当別6）配備 120,679千円  
9 当別消防庁舎空調設備取付工事 1,815千円  
10 常備消防職員派遣期間満了2名増員 55名  
11 パソコン更新事業 7,810千円  
12 当別消防庁舎鋼製建具交換修理 1,408千円

### ○新篠津消防署・新篠津消防団

- 令和 7. 3 常備職員2名退職 16名  
4 常備職員1名採用 16名（再任用職員除く）  
9 常備職員1名育児休業取得 15名（再任用職員除く）

### ○石狩消防署・石狩消防団

- 令和 7. 1 消防吏員 111名（派遣、再任用、育児休暇中職員除く）  
4 常備職員2名採用 消防吏員 114名（派遣職員を除く）  
6 元石狩消防団 副団長 八木沼正見氏 春秋叙勲瑞宝単光章受章  
9 厚田分団積載車配備 12,540千円  
10 札幌圏消防指令センター運用に伴い消防本部職員7名が異動、常備職員1名石狩市役所へ派遣 消防吏員 120名（派遣職員を除く）  
12 元石狩消防団 分団長 山本光正氏 春秋叙勲瑞宝単光章受章  
元石狩消防署 消防司令補 鳥潟正秋氏 危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章